

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.919  
2021.6.6

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき とば めぐみ  
とりうみ敏行 金子 あきよ  
松村 としお たけこし 連  
久保 みき

## 新型コロナウイルス

# ワクチン接種予約の改善を求めて

前号の市議団ニュースでお知らせしたとおり、党市議団は市に対して、新型コロナウイルスワクチン接種と予約についての改善を求めて緊急の要望書を提出しました。その後、ワクチン接種予約の実態はどうなっているのか、とりうみ敏行市議が状況を把握するため、浦和区役所に設置されたワクチン相談窓口で職員の話を行いました。そのなかでさまざまな課題が明らかになりました。

各区に相談窓口が設置されたのは5月の連休前でしたが、5月10日の予約受付開始とともに、「電話が繋がらない」「インターネット予約ができない」などの問い合わせが寄せられるようになりました。5月25日から、相談窓口を拡大し、生涯学習総合センター、公民館（10館）、図書館（10館）でも、接種予約に関する相談、予約支援などを実施しています。各区役所に「ワクチン接種チーム」をつくり、副区長がリーダーを務めています。窓口では実際に服薬や病歴、かかりつ



職員から話を聞くとりうみ市議（左）

け医への相談の有無、ワクチン接種の希望をききとり、コールセンターに電話をつないだり、インターネットを接続して画面の操作を手伝ったり、という予約支援がおこなわれていますが、一人ひとりの話を聞き取りながらなので、対応時間が長くなりがちです。

さらなる改善が早急に求められているのは次の点です。

- ・電話回線が、166回線から200回線に増

## さいたま市長選挙の結果について

団長 神田よしゆき

5月23日投票でさいたま市長選挙がおこなわれ、清水勇人氏が当選（4期目）しました。日本共産党が支持した前島ひでお氏は8.6万票（得票率28.5%）を獲得して前回から票を1.6倍に伸ばし大健闘しましたが及びませんでした。ご支援いただいたみなさんに感謝します。

投票率が3割を切ってしまったのは残念なことです。投票率向上に向けて市の取り組みや公職選挙法の規制など改善を求めていきます。

前島氏は「市庁舎移転よりコロナ対策に全力を」「給食費値上げなど冷たい市政から税金の使い方を変えて負担を軽く」などコロナ禍のもとで市民を支えるあた

たかい市政への転換をかけた。「埼玉新聞」の出口調査では、市庁舎は「移転しなくてよい」が多く、優先的にとりくんでほしい政策では清水氏が押し出した地下鉄7号線延伸はたった2.7%でした。まもなく始まる6月議会で党市議団として市民の願いに背く政策は厳しくチェックし、コロナ対策やくらし支援の拡充に全力でとりくむ決意です。

またコロナ対策や医療・福祉の充実には国政の転換が求められます。秋までに必ずおこなわれる衆議院議員選挙において、市民と野党の共同で政権交代と日本共産党の躍進に向けさらなるご支援・ご協力を心からお願いします。

強されたが、インターネット回線も含めてさらなる増強が必要。窓口で相談にあたる職員の増員も求められる。

- ・個別接種医療機関の予約枠は、現状では2週間程度しかなく、すぐに埋まってしまうため拡大が求められる。そのためには、国からワクチンの供給が安定しておこなわれることが不可欠。

- ・2回目の接種予約について、集団接種会場で受けた場合は3週間後に同会場・同時間帯で受けられるようになっているのに対し

て、個別医療機関では原則としてもう1回コールセンターやインターネットを通じて予約を取る必要があり、それが大きな負担になっている。

今後、6月4日から前期高齢者（約15万人）へのワクチン接種クーポン券の発送が行われ、それ以降は予約も窓口への相談もさらに混み合うことが予想されます。党市議団として、ワクチン接種・予約体制の改善と、市民への情報提供の拡充を引き続き強く求めていきます。

# 働き方改革を進めるために サテライトオフィスを視察

とば市議  
職員研修センターを視察する



5月20日、総合政策委員会にとばめぐみ市議が出席し、本市職員の働き方改革に資するテレワークの取り組み状況について市から報告を受けました。市は新型コロナを機に、在宅勤務をはじめとするテレワークの推進のために、自宅用の専用端末80台、サテライトオフィス(市内4カ所)に専用端末29台、その他出張先で利用する専用端末20台を確保しています。テレワークの実施率は昨年度

末時点で35.8%です(教職員を除く)。

26日、とば市議はサテライトオフィスの会場である職員研修センターを視察しました。職員からは職務に集中でき、業務効率が上がったという声も寄せられ、テレワーク実施率は徐々に上がっています。一方で、サテライトオフィスの開設場所に偏りがあること、区役所、教育、健康・福祉分野では実施率が低いこと、窓口・電話対応の多い部署は残った職員の負担が多くなる等の課題も残されています。とば市議は「テレワークは働き方改革の一部にすぎない。残業を減らし、休暇をとりやすくするためには、職員の増員こそ必要だ」と語りました。

## 請願・意見書の採択に全力

●2件の請願の紹介議員になりました。

- ①日本政府に「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」の提出を求める請願  
(さいたま南平和委員会他、52団体)
- ②酷暑から市民のいのちを守るエアコン等対策の拡充を求める請願  
(さいたま市社会保障推進協議会)

●党市議団として、5件の意見書(案)を提出しました。

- ①駅利用者等の安心・安全確保のため駅有人化及び利用者数に関わらず危険性の高い駅にホームドア設置を求める意見書(案)
- ②辺野古新基地建設において沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書(案)
- ③東京五輪・パラリンピックの開催中止を求める意見書(案)
- ④建設アスベスト被害者救済制度の早期創設を求める意見書(案)
- ⑤教員免許更新制の廃止を求める意見書(案)

## 久保みきが行く! 特別天然記念物サクラソウ自生地

### 貴重な自然をまもろう

5月28日、私は田島ヶ原サクラソウ自生地(桜区)を視察し、市の文化財調査専門委員の荒木祐二准教授(埼玉大学)からお話をうかがいました。

田島ヶ原サクラソウ自生地はサクラソウのほかにトダスゲ、レンリソウなどたくさんの絶滅危惧種が生息しています。大都市のなかでこれだけの絶滅危惧種が見られる場所は世界でもまれです。本当に大変貴重な自然です。荒木准教授は「この自然は人の手が入っているからこそ守られている。人の手が入らなければいまの自然はなく、おそらく荒地などになってしまっただろう。人の手で守り抜かれた文化だ」と話してくれました。

昨年の7月、田島ヶ原サクラソウ自生地が国の天然記念物に指定されてから、ちょうど100年を迎えました。田島ヶ原サクラソウ自生地は、日本で天然記念



荒木准教授から話を聞く久保市議(右)

物を保護する制度ができてから最初に指定された天然記念物の一つです。明治末期、一度は絶滅の危機に瀕したサクラソウをなんとかしても守ろうという先人たちの熱い思いにより天然記念物の指定を受け、そして特別天然記念物となり今日があります。私は2018年6月議会でサクラソウの減少を取り上げ、絶滅の危機を指摘し、保全のための予算強化を求めました。引き続きこの貴重な自然を守り抜くために力を入れていきます。

## あなたの身近な議員です

						
市議(北区)	市議(浦和区)	市議(緑区)	市議(桜区)	市議(見沼区)	市議(南区)	市議(中央区)
神田よしゆき	とりうみ敏行	松村としお	久保みき	とばめぐみ	金子あきよ	たけこし連